

絵本とわらべ歌は文学の入り口

1 活動の概要

「おはなしキャンドル」は、大井町内で本の読み聞かせの勉強をしている方々が集まって結成した団体であり、昭和 60 年から現在まで町内の図書館ほか保育園、幼稚園、こども園、小学校、児童コミュニティクラブでおはなし会を定期的に行っている。また、町内の図書館において、読み聞かせ講習会の講師としても活動し、地域の園・小学校の読書活動の充実と啓発に尽力している。



おはなし会開始当時の写真（当時の広報誌より）



2 活動の状況、実際

【おはなし会】

- 大井町立図書館：毎月1回の「土曜おはなし会」。
- 保育園・こども園：年に5回の「おはなし会（わらべ歌と読み聞かせ）」。
- 小学校：毎月1回の朝の時間「おはなし会（絵本の読み聞かせ）」。
- 年2回国語の授業でのおはなし会
- ※読み聞かせを行った後、子ども同士で振り返りをする
- 学童施設等：夏・冬休み時の「おはなし会」 など

【勉強会】

- 毎月第3水曜日に「子どもと本」をテーマにその月の担当者が先生役となり、取り上げた本の内容や作者について発表するとともに、メンバーに向けて読み聞かせをする。その後、率直な意見や感想を伝え合うことで、本についての理解を深め、よりよい読み聞かせについてブラッシュアップを図っている。



勉強会でテキストにしている「子どもと本」



小学校での読み聞かせ

3 活動者の声

- ・子どもたちは、毎回キラキラした笑顔でおはなし会を楽しんでいます。そんな姿を見ると、私たちも元気をもらえます。
- ・わらべ歌では、日本語の美しさや楽しさを伝え言葉に興味をもってもらえるように、季節感や日本の文化を伝えていくために取り入れています。園児が楽しんでくれるとこちらも嬉しくなります。
- ・読み聞かせに行くときは、どの本を読むのか「選書」を大事にしています。本の内容やかかる時間、他の本との重なりなどを考えますが、何より大事にしているのは、読み手が「好き」と思える本を選ぶことです。私たちが楽しんで読むことが、子どもたちの楽しさにつながっていると思います。
- ・「あなたが聞いたおはなしが、いつかあなたの力になりますように」と願い、これからも子どもたちに「出合っほしい本」を愛情込めて読んでいきたいです。



2つの賞をいただきました

- ・令和5年度神奈川県図書館協会功労賞
- ・令和6年度子供の読書活動優秀実践団体
文部科学大臣表彰